

水引地区コミ協便り

みずひき



【12月号】

令和7年12月23日発行

水引地区コミュニティ協議会

☎&FAX0996-26-3849



秋晴れの11月16日に水引小学校体育館で、水引地区球技大会が開催されました。今回は網津地区の女子チームが欠場となり、女子の予選リーグは変則的な組み合わせとなりましたが、試合の方は選手と会場応援者が一体となり、大いに盛り上がった球技大会でした。

**水引地区球技大会は（ソフトバレーボール）
男女ともに浜田地区が2連覇達成!!**



11月26日はよく晴れた日で、参加者19名を乗せた貸切バスは、唐船峡↓山川地熱発電所↓フラワーパークと巡って、出発地点の草道駅へと帰ってきました。

**自治連合&環境部会の合同研修は
九電さんの山川地熱発電所見学でした**

シンボル花壇の植替えて 華やかな駅前となりました！

環境部会が草道駅前のシンボル花壇の花の植替えを行いました。前回よりも花の数が増えて、華やかさが一層増した模様です。



港にぎわい祭りは 今年も賑わいました

11月22日の川内港ターミナル前で行われた『港にぎわい祭り』は、ステージイベントのほか、大抽選会や食、ワークショップなど、イベント盛り沢山で、子どもも大人も楽しめる内容に盛り上がりました。



出店も多くて大盛況です！

お知らせ

日本赤十字社の 活動補助金について

各地区コミ内の日赤に関する事業の推進及び啓発のための経費として補助するもの。
活用例

- ◎災害対策用品の整備費
- ◎地区コミ、自治会での非常食炊き出し訓練に係る経費

詳しいことは
薩摩川内市社会福祉協議会
総務課まで
お問い合わせください。

連絡先(22) 2355



当紙面をカラー又は拡大してご覧になれます。左記のQRコードをスマホで読み取ると簡単です。
水引地区からの
お知らせの下に
水引地区コミュニ
ティ協議会便
りがあります。

コミセン窓から



八百屋お七の干支は丙午

大晦日(おみそか)の12月31日は「除日(じょじつ)」といい、「古いものを除き、新しいものに移る」という意味から、その夜を「除夜」と呼びます。大晦日の夜半から元旦にかけて、各地の寺院で撞く梵鐘(ぼんしやう)を除夜の鐘と言い、煩惱の数の108回を撞きます。この梵鐘より小さいのが半鐘で火事の時の警鐘に使っていました。「おじゃんになる」という言葉は、火事の鎮火合図として半鐘を2回(ジャンジャン)鳴らしたことから、「火事が終わった」↓「火事で何もかもダメになった」と転じて「失敗する」「無駄になる」という意味で使われるようになったという語源があります。

火事と言えば『八百屋お七』という江戸本郷の八百屋の娘で、恋人に会いたい一心で放火事件を起こし、火刑に処されたとされる少女の話が有名ですが、お七の干支が丙午(ひのえうま)であったことから、丙午の女性は気性が激しく夫の命を縮めると言った全く根拠のない迷信が出来ました。実際の丙午は「火」と「午」の組み合わせから、強いエネルギーを持つ年とされています。激しさを力に変え、逆境を乗り越えていく力を授けてくれる干支です。2026年は明るく力強い年になるでしょう。
(大迫)

